

□ 要請番号 (JL03018A19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミャンマー	G126 サッカー		個別	新規	2年	・2018/3 ・2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

スポーツ体育研究所、マンダレー

3) 任地 (マンダレー) JICA事務所の所在地 (ヤンゴン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約2.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はエリート選手や指導者の育成、スポーツ研究を目的に2002年に設立された。25種目に分かれた約700名の12-18歳の生徒を対象に通年トレーニングを実施している。各競技のトレーニングは主に早朝および夕方に実施されており、日中は学校に通っている。配属先では地域のスポーツ団体コーチへの研修、小学校教員への体育研修なども開設されており研究事業の他、各種競技のコーチ約100名、その他職員約50名が所属している。年間予算は約1億円。他の都市にも同様の施設が5か所設置されている。JICAボランティアは、2017年に短期青年海外協力隊(水泳)が派遣され、現在は長期のJV(2017-3、水泳)が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、2年毎に開催される東南アジア競技大会に代表選手として出場するエリート選手の育成を目的の一つにしている。フットサルについては、2013年に当国で行われた東南アジア競技大会はグループリーグ3位で予選敗退、AFCフットサル選手権でも地域予選で敗退と、ミャンマーは国際大会で芳しい成績を挙げられていない。配属先でもフットサルの指導が行われているが、最新の知識や経験を持った指導者が不足しており、選手たちについてもまだ技術レベルが低い。こうした状況を改善するために、ボランティアの協力が必要だとして本要請が提出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚コーチと協力しながら、配属先の一員として以下の活動を行う。

- 1.選手たちにフットサルの指導を行う。
- 2.同僚に対し、練習の組み立て、トレーニング方法等についての情報・経験の共有を行う。
- 3.その他、配属先が必要とする活動のサポートを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

フットサル専用のコートがある。

4) 配属先同僚及び活動対象者

所長:男性、50代
同僚コーチ:男性1名、40代
指導対象選手:男子12名、女子12名

5) 活動使用言語

ミャンマー語

6) 生活使用言語

ミャンマー語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）3年以上 備考：コーチへのサポートも行うため

[参考情報]：

- ・JFA公認フットサルC級コーチ

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（13.4～38.4℃ [電気]：（不安定）
位）

[水道]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

【特記事項】

配属先敷地内の宿舎に居住する。任国の査証手続きにより、他国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。資格については、JFA公認フットサルC級コーチ資格を取得していることが望ましい。